

名古屋女大短大 ○早坂美代子 石原久代 原田妙子

目的 下肢形状とスカート丈との関係を審美面より把握するために、第1報において若い女性の下肢形状を取り上げ、その測定値を用いて類型化を行い、代表的な下肢形状の被験者を選出し、更に第2報においてはそれらの被験者に丈の異なるタイトスカートを着用させ、若い女性の目から見た下肢形状とスカート丈との関係について検討を行った。そこで本報においては、見る側の年齢による評価の違いを検討するために40歳以上の女性を取り上げ、それらの評価にどのような形態的因子が影響しているかを明らかにするとともに若い女性の評価との差異について比較検討した。

方法 第2報において作成した96種のカラースライドの下半身をプロジェクターにより投影し、40～65歳の女性44名を用いて、前報と同様、下肢形状とスカート丈が調和している—調和していない、気軽な—あらたまった、上品な—下品な、大人っぽい—子供っぽいの4形容詞対について5段階評定の官能検査を行った。得られた結果を数値化し、重回帰分析等の手法により下肢形状との関係を検討した。

結果 調和している—調和していない、上品な—下品な、大人っぽい—子供っぽいの3形容詞対の評価はかなり似た傾向を示し、若い女性に比べ、スカート丈の長い70cmが高い評価を得ている。更に、下肢形状との関係においては、若い女性の評価同様、調和している—調和していないには、幅に関する項目及び左右の足首位での隙間が大きく関与し、上品な—下品なには加えてスカート丈も影響している。また気軽な—あらたまった、大人っぽい—子供っぽいについてはスカート丈が最も大きく影響しているといえる。